

歳出予算要求書

令和06年 5月 9日 14:12 1頁

令和06年度 第2号補正

当初要求

001: 一般会計

01: 議会費

01: 議会費

01: 議会費

002501: 議会事務局総務係

250102: 議会運営活動事業

(単位: 千円)

区分	要求額	補正前の額	補正後の額	査定額
事業費	995	14,438	15,433	
財源内訳	国庫支出金	0	0	0
	道支出金	0	0	0
	地方債	0	0	0
	その他	0	0	0
	一般財源	995	14,438	15,433

事業概要
<p>【2号補正】 総務経済常任委員会の視察調査に係る費用の追加</p>

科目	科目名称	充当額	主管課

節	細目	科目名称	要求額	補正前の 予算額	補正後の 予算額	査定額	査定額	査定額	積算基礎	消金額(円)
08	旅費		630	1,053	1,683					
	002	常任委員会費用弁償	489	46	535					
		001 常任委員会費用弁償	489	46	535				総務経済常任委員会視察(2泊3日) (秋田県大仙市・五城目町・青森県八戸市) 69,730円 × 7名	488,110
	008	その他費用弁償	71	409	480					
		001 その他費用弁償	71	409	480				総務経済常任委員会視察(2泊3日) (秋田県大仙市・五城目町・青森県八戸市) 70,914円 × 1名(議長分)	70,914
	009	職員旅費	70	142	212					
		001 職員旅費	70	142	212				総務経済常任委員会視察(2泊3日) (秋田県大仙市・五城目町・青森県八戸市) 69,730円 × 1名	69,730
13	使用料及び賃借料		365	4,286	4,651					
	002	バス借上料	365	313	678					
		001 バス借上料	365	313	678				総務経済常任委員会視察(2泊3日) (秋田県大仙市・五城目町・青森県八戸市) バス借上料	364,830

旅費請求明細

年度 6

支出科目 会計 1 1 1 1 1 8

職氏名 芽室町議会議員

出張年月日	出張地及び経路	出張方法	陸路料金	鉄道料金	航空機料金	特急行料金	その他	車賃	日当	宿泊料	暖房料	用務	
7/8	自 芽室町	自家用車 庁用車 便乗 ○ 汽車・バス	Km	Km	円	円	円				円	秋田県大仙市 視察 秋田市移動	
	至 南千歳・新千歳空港		円	(バック料金) 円	6,580								
	自 新千歳空港	自家用車 庁用車 ○ 航空機 汽車・バス	Km	Km	円	円	円						
	至 秋田空港		円	円	ANA1832 13,130								
	自 秋田空港	自家用車 庁用車 航空機 汽車・バス	Km	Km	円	円	円						
	至 秋田県大仙市・秋田市		円	円				借上バス	2,000	12,100	(バック料金)		
7/9	自 秋田県秋田市	自家用車 庁用車 航空機 汽車・バス	Km	Km	円	円	円		円	円	円	秋田県五城目町 視察 青森県八戸市移動	
	至 秋田県五城目町		円	円				借上バス					
	自 秋田県五城目町	自家用車 庁用車 航空機 汽車・バス	Km	Km	円	円	円		円	円	円		
	至 青森県八戸市		円	円				借上バス	2,000	12,100	(バック料金)		
7/10	自 青森県八戸市	自家用車 庁用車 ○ 航空機 汽車・バス	Km	Km								青森県八戸市 視察 芽室町移動	
	至 青森空港		円	円				借上バス	2,000				
	自 青森空港	自家用車 庁用車 ○ 航空機 汽車・バス	Km	Km	円	円							
	至 新千歳空港		円	円	(バック料金) ANA1899 13,240								
	自 新千歳空港・南千歳	自家用車 庁用車 便乗 ○ 汽車・バス	Km	Km									
	至 芽室町		円	(バック料金) 円	6,580								
小 計			0	13,160	26,370	0	0	0	6,000	24,200	0	(合計) 69,730	

1 総務経済常任委員会先進地事務調査

(1) 補正の理由

令和6年度総務経済常任委員会の抽出事業とした「芽室町まちなか再生ビジョンのあり方」について、町が「ビジョン」に基づき事業を推進する中で、中心市街地の人の流れを創出することは特に重要と考えることから、優良事例を実践している自治体等を視察し、今後の調査・研究を深めるもの。

(2) 調査内容

ア 秋田県大仙市

(ア) まちなかへの都市機能の集約

地域中核病院の移転など、医療・福祉・健康・交通等の都市機能をまちなかに集約し、交流結節点として賑わいを生み出すとともに、商店街への回遊機会を創出している。

(イ) 地元商店主の新たなチャレンジによる賑わいづくり

地元商店主らが中心となって設立されたまちづくり会社「ひなび大曲」が、特に女性をターゲットに新たな都市集積からの人の流れを商店街に呼び込むため、古い内蔵を商店、交流施設を兼ねるまちなか拠点施設としてリノベーションするなど、新たな顧客獲得の取組を進めている。

イ 秋田県五城目町・五城目町地域活性化センター（BABAME BASE）

対立軸にあった郊外大型商業施設等との協力関係づくりにより中心市街地活性化に取り組んでおり、また、廃校を活用した五城目町地域活性化センター（BABAME BASE）においては、起業やコミュニティ活動などを実施する事業者を支援している。

ウ 青森県八戸市

八戸市では、中心市街地が衰退傾向にあったが、商業施設の跡地利用で、市による八戸ポータルミュージアム「はっち」や八戸まちなか広場（マチニワ）などの整備と、民間事業者によるガーデンテラスの集客拠点の整備、官民連携した花小路整

備や横丁の活性化事業などに取り組み、空き店舗も減少している。

また、「八戸市中心市街地まちづくりビジョン 2023」を策定している。

(3) 調査時期（調整中）

令和6年7月8日（月）～10日（水）2泊3日

(4) 派遣委員等

委員7名、議長及び随員職員

(5) 補正額

議会運営活動事業（250102）

08 旅費	002 常任委員会費用弁償	001 常任委員会費用弁償	489 千円
08 旅費	008 その他費用弁償	001 その他費用弁償	71 千円
08 旅費	009 職員旅費	001 職員旅費	70 千円
13 使用料及び賃借料	002 バス借上料	001 バス借上料	365 千円
合 計			995 千円